

借入金の状況

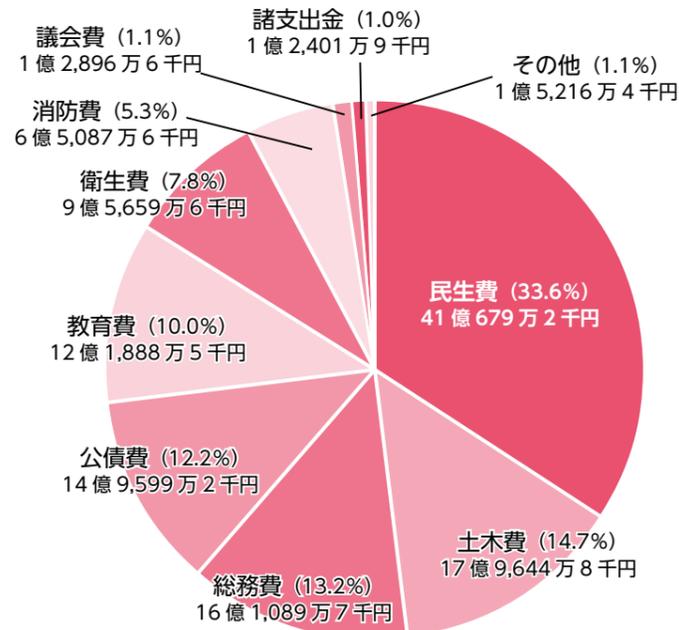
▶ 年度末借入金（地方債）残高 一般会計の残高

平成 27 年度決算額	約 149 億円
平成 28 年度見込額	約 156 億円
平成 29 年度見込額	約 152 億円

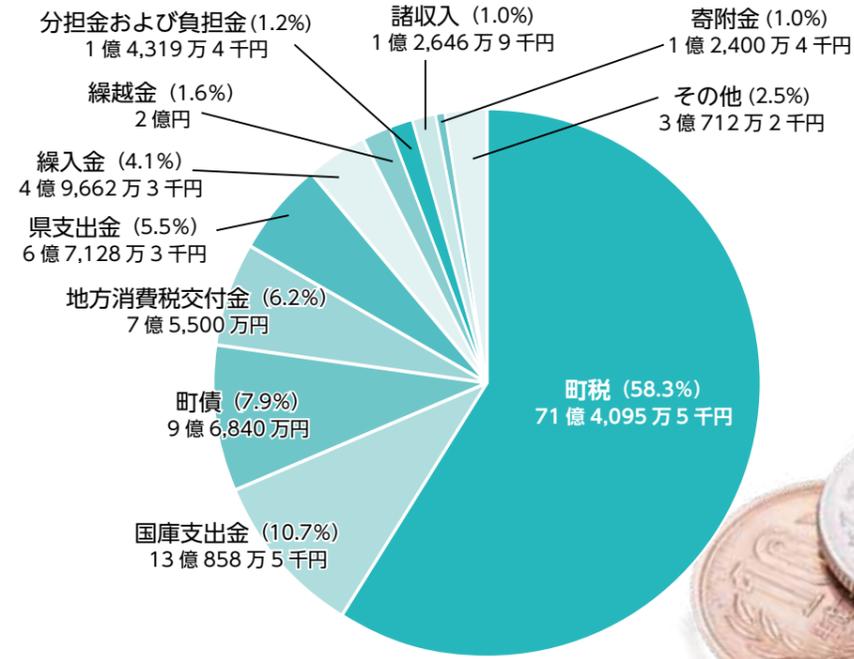
平成 29 年度はスマート IC 利便性向上促進事業、緑化保全事業、土地区画整理支援事業等における事業費の財源を確保するため、借り入れを予定していますが、年度末借入金残高については、平成 28 年度見込額と比較し減額となっています。



一般会計の歳出



一般会計の歳入



平成 28 年度 一般会計予算額

119 億 68 万 9 千円

平成 29 年度 一般会計予算額

122 億 4,163 万 5 千円

平成 28 年度から
3 億 4,094 万 6 千円の
増額（一般会計）

平成 29 年度 三芳町の

予算

町では、厳しい財政状況の中、限られた財源を活かしサービスを行っています。税金がどのように活かされているのか。平成 29 年度予算案の概要をご報告します。☎財務課 415

厳しい財政状況

町の財政状況は大変厳しい状態が続いています。こうしたなか、平成 29 年度三芳町一般会計予算案を作成し議会に上程しました。予算が決定することは、町が行っていく事業を決定したことになります。今年度の予算案を公開します。

一般会計の概要

町の自主財源である町税は増加したものの、今後も「福祉・医療・介護」などの社会保障経費の自然増の傾向は続いています。また、建設事業の実施により、今後の返済経費（公債費）の増も見込まれます。さらに家庭での預金にあたる基金残高は、依然として低い水準にあります。

限られた財源であっても、行政サービスを低下させないために、既存事業の見直しや、新規事業を厳しく精査し、予算を編成しました。予算総額は 122 億 4163 万 5 千円、前年度と比較して 2.9% の増額

となっています。

歳入の主なもの、町税が全体の 58.3% を占め、国庫支出金 10.7%、町債 7.9%、地方消費税交付金 6.2%、県支出金 5.5%、繰入金 4.1% などです。

歳出の主なもの、民生費が全体の 33.6% を占め、続いて土木費 14.7%、総務費 13.2%、公債費 12.2%、教育費 10.0%、衛生費 7.8% となっています。

また主な事業としては、スマート IC 利便性向上促進事業、緑地保全事業、防災行政無線（固定系）デジタル化移行整備事業、健康長寿事業、ふるさと納税推進事業などを予定しています。

特別会計の概要

特別会計は、予算を使用する用途が限定されています。一般の歳入歳出予算と区別して行われている会計です。町には国民健康保険、後期高齢者医療、介護保険および下水道事業の 4 つの特別会計と水道の企業会計が

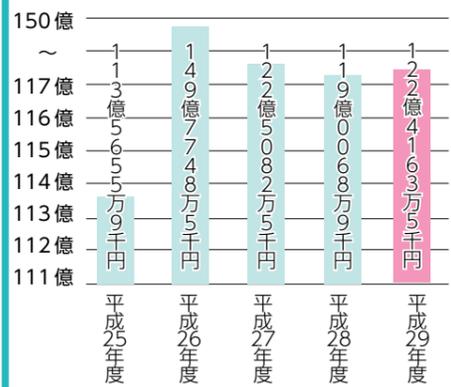
特別会計予算

特別会計項目	当初予算等金額	前年比	問い合わせ	
国民健康保険特別会計	4,963,611 千円	△ 1.88%	住民課保険年金 ☎ 154	
後期高齢者医療特別会計	404,213 千円	5.54%	住民課保険年金 ☎ 157	
介護保険特別会計	2,515,394 千円	16.69%	健康増進課介護保険 ☎ 184	
水道事業会計	収益的収入	867,751 千円	0.76%	上下水道課水道業務 上下水道課下水道業務 ☎ 049-274-1014
	収益的支出	833,174 千円	△ 0.38%	
	資本的収入	291,185 千円	△ 14.26%	
	資本的支出	414,365 千円	△ 19.21%	
下水道事業特別会計	819,226 千円	5.73%		

あります。

特別会計の中でも国民健康保険は依然として厳しい財政状況です。また、後期高齢者医療についても年々被保険者数が増加しており、被保険者の皆様のご理解とご協力により、医療費適正化などさらなる国民健康保険、後期高齢者医療の財政運営の健全化につなげていきます。介護保険特別会計は、高齢者の増加により介護サービスの利用増が見込まれることにより前年度よりも増となりました。企業会計の水道事業は、経費削減、健全経営し、安定給水に努力していきます。

一般会計 当初予算の推移



過去 5 年間の推移